つなごちゃんだより

2023年度
9月号

〒177-0045 練馬区石神井台３丁目 31 番４号　小規模保育園手をつなご石神井台
TEL　03(6767)1204

ご家族で帰省したり、旅行に行ったりしていたお友だちが揃い始めました。子どもたちは一緒にあそぶことがとっても楽しい様子です。

先日「あの日のオルガン」という映画を見ました。第二次世界大戦末期に、東京下町の保育園が園児と保母（平成 11 年４月から保育士に名称変更）だけで埼玉県に疎開した実話をもとに作られた映画です。疎開を提案した保育園側と「こんな小さな子どもを親元から引き離すのか」「子どもと離れたくない」と反発する保護者達が話し合いを重ねます。やがて、反発していた親たちも保母を信頼して子どもを託す決心をしました。疎開先が見つかり、無事疎開したもののそこからが苦労の連続でした。

そして３月９日。10 万人という犠牲者を出した東京大空襲で、疎開していた子どもたちの親もたくさん亡くなりました。子どもたちを疎開させたことが本当に良かったのかと主任保母（戸田恵梨香）は苦しみます。それでも 54 人の子どもたちの命が守られました。『戦争は絶対嫌だ』と思います。すべての人たちが平和の中で、豊かに暮らしていける社会を作っていかなくてはと思います。　園長　浦山恵美

今月のねらい

- 身の回りのことを自分でしようとする意欲が持てるよう援助していく。
- 遊びや生活を通して自分にも相手にもいろいろな気持ちがあることを知ろうとする。

お願い

まだ暑い日が続きそうです。
９ 月も引き続き水遊び・シャワーの準備をお願いします。
天候を見ながら、終了のお知らせをします。

今月の予定

15 日（金）　避難訓練（子ども）
　　情報伝達訓練、引き取り訓練（保護者）
20 日（水）　身体計測・地域交流
27 日（水）　お月見にちなんだ遊び・秋まつり

＊10 月 11 日（水）に親子お芋ほりを予定しています。
詳細が決まり次第、お知らせします。

20 日（水）地域交流　10:30～12:20

家庭で過ごすお子さんにお友だちと遊ぶ経験や保育園の給食を体験していただきます。
在園児は通常保育です。

27 日（水）お月見・秋まつり

普段の保育の中で、子どもたちが好きな魚釣り遊びなどをおまつり風にして、雰囲気を楽しみたいと考えています。

15 日（金）情報伝達訓練、引き取り訓練

＊情報伝達訓練
15:30 の災害発生を想定し、ダイヤル 171・web171・公式ラインに登録・配信しますので確認をお願いいたします。

＊引き取り訓練
通常のお迎え時間に行います。
お迎えの時にお名前の確認など、災害時の引き取り訓練をさせていただきます。

こちらの QR コードから保育園のホームページ・おたよりをご覧になれます。

小規模保育園手をつなご石神井台は「特定非営利活動法人手をつなご」が運営を行っています。

子どもの様子

８月は、ご家庭の皆さんと夏休みを過ごすお子さんもいて、登園人数が少ない日もありました。水遊びの時、少人数なのでそれぞれが思う存分いろいろな道具を使えるように用意しながら始めたところ、、、たらいも、スプレーボトルも「一緒に使おう！」「一緒にいい？？」などと声をかけあって使い始めました。　　用意した私たちからすると、「え？？いいの？こちらにもあるよ」と思いましたが、「いい！（いらない）」とのこと。お友だちの存在がとても大きくなっていて「一緒に遊ぶ！」という楽しさを存分に味わっていることに気づかされました。

室内では、可動遊具を使ってベッドつくりから、部屋つくりになり「ここはお風呂ね。」「ここで寝よう」などと、とっても狭いスペースに身を寄せ合って遊んでいます。「もう少し広くしようか？」と手伝おうとしたらと「大丈夫、ぴったりして入るから！」と断られました（笑）

以前は少しでもテリトリーに入られると「ダメ！」「入らないで！」と自分のスペースを確保することに懸命になっていた子どもたちでした。でも今ではお友だちと一緒に遊ぶ楽しさや心地よさと「どうぞ」「ありがとう」の優しさを分かち合う子どもたち。成長を感じさせられた一コマでした。

まだまだ、自分のもの！と独占したい時もあります。そういう時は、存分に使えるように見守ります。その経験を保育園の中でたくさん経験することで、自然とお友だちに手渡しできるようになり、成長していきます。成長した時お友だちと気持ちが通じた時の心地よさを感じてもらえるといいなと思っています。

職員の 小さいころの夏の思い出

毎年、母の田舎の香川県で過ごしました。小学校３年生からは、新幹線、在来線、連絡船を乗り継ぎ、妹と二人で行っていました。乗る時に周りの人に頼む我が親。当たり前のように頼まれてくれて一緒に乗り換えて下さる方々でした。
浦山恵美子

静岡で仕事をしていた父親のところに毎年遊びに行っていました。大きな富士山を近くに見ながら、姉と散歩するのが楽しみでした。
清家元子

夏休みは毎年、奈良の祖父母宅へ遊びに行きました。家の庭に大きい砂場があって、毎日どろんこまみれになって遊んでいました。
佐藤典子

夏休みと言えばラジオ体操。６時に起きて空き地に集合し、すべて出席するとお菓子がもらえるのが楽しみで早起きしました。寝坊した日はパジャマのまま参加。「これは服だ！」と言い張ったのを覚えています。　大塚祐子

小さい頃の夏休みは、ほぼ毎日ラジオ体操に行っていました。父の単身赴任先でも、近くでやっている場所を探して行っていました。　関口香津世

私の幼少期の夏の思い出は…親戚一同で行く旅行です。総勢 20 名でキャンプに行って、みんなでご飯を作って食べたり、夜花火をしたり、ホテルに泊まった時はみんなでお揃いのパジャマで寝たりして、毎年の旅行が楽しみでした。　塚田久美子

父と一緒に網とカゴを持って近所の公園にセミを捕まえに行っていました。セミを捕まえた瞬間おしっこをされて逃げられ、大笑いしたのがいい思い出です。　佐藤真由美

親に内緒で子どもだけで川の上流まで遊びにいき、大きな岩でウォータースライダーで大興奮。楽しかったけど、今我が子が内緒で行くと思ったとしたら、恐ろしい。。。
清田美穂

夏の思い出は地元の秩父川瀬祭りです。花笠付きの着物を着て、拍子木を叩きながら歩く子どものためのお祭りです。神輿が荒川に入る姿は見ものです！　西田典子

練馬区出身の私。小さいころは年一回、幼馴染みの一家ととしまえんに行くのが楽しみでした！成人式もとしまえん。なくなってしまったのはちょっとだけ寂しい…　菅原純子